

一般質問

市政のこころを問う

この定例会では6月12日から14日までの3日間に、15人が登壇し、42項目にわたって、市政全般についてたずね、一般質問が行われました。一人一項目を要約し、掲載します。

一般質問項目（発言順）

※印が掲載した項目です。また、氏名の下の()は質問方式です。

- 鈴木 浩二 議員 南海トラフ巨大地震の対策について
- 鈴木 浩二 議員 被災者支援について
- 星野 雅春 議員 子育て支援策の拡充について
- 星野 雅春 議員 当地区の防災対策について
- 星野 雅春 議員 クレジットカードの普及について
- 黒川 智明 議員 南海トラフ地震対策について
- 黒川 智明 議員 消防団について
- 黒川 智明 議員 児童福祉の取組について
- 山本 シモ子 議員 都市交通路について
- 山本 シモ子 議員 県原水プール事故の経緯と対策について
- 山本 シモ子 議員 消防団の整備と対策について
- 山本 シモ子 議員 市営住宅入居の要望に応える対策について
- 野村 武文 議員 平和行政について
- 野村 武文 議員 刈谷城築城史とまち起こしについて
- 野村 武文 議員 税滞納整理のあり方について
- 野村 武文 議員 未就学児と子育て支援について
- 野村 武文 議員 市民の安全安心について
- 野村 武文 議員 子育て支援の充実について
- 中嶋 健治 議員 災害に強い町づくりについて
- 中嶋 健治 議員 岩ヶ池公園の環境整備について
- 新田 周二 議員 刈谷城築城480周年記念事業について
- 新田 周二 議員 ネット選挙運動の解禁について
- 神谷 昌宏 議員 ネット選挙運動の解禁について
- 神谷 昌宏 議員 刈谷駅周辺の整備について
- 神谷 昌宏 議員 市長選挙におけるマンifestと重点事項について
- 白土 美恵子 議員 男女共同参画社会の構築について
- 白土 美恵子 議員 健康政策について
- 鈴木 浩二 議員 健康政策について
- 鈴木 浩二 議員 公共施設利用状況と改善について
- 鈴木 浩二 議員 市民アンケートについて
- 鈴木 浩二 議員 親愛の里保育園の移設について
- 鈴木 浩二 議員 刈谷市の治安について
- 鈴木 浩二 議員 市財政における投資的経費について
- 鈴木 浩二 議員 鉄塔跡地周辺地域のスマートTOWN展開について
- 鈴木 浩二 議員 市民募集について
- 鈴木 浩二 議員 教育委員会による教科書の選定について
- 鈴木 浩二 議員 災害時の避難所について

一般質問のすべての質問・答弁が映像でホームページからご覧になれます。「刈谷市議会」で検索し、「会議録をみる」または「議会映像をみる」をクリックしてください。

鈴木 浩二 議員（一問一答方式）

地域にも、最大クラスの震災への備えを
 —市民意識の高揚を図り総合的な防災力アップを目指す—

問 ハザードマップの全戸配布により耐震対策に努めているが、内閣府発表の南海トラフ巨大地震における、本市の被害想定はどのようなものか。

答 最大被害想定では建物倒壊・焼失によるのが約9千棟、約4百名となっている。

問 被害想定を見込んだ今後の本市の対応は。

答 今年度も引き続き防災備蓄倉庫の整備や住宅の耐震改修に対する助成、被害軽減につながる家具の転倒防止や住宅の耐震化を進めるとともに、家庭や地域の備蓄の啓発など、市民意識の高揚を図る予定である。

問 木造住宅段階の耐震改修工事の補助内容と、耐震化アップに向けた今後の取組みは。

答 耐震改修を行う際、工期や費用面から一度に工事を行うことが困難な方について、段階的に対応して、段階的に対応する。刈谷市では、今年度から一部費用を助成し、防災ラジオを市民販売することだが、どのような方法で販売する予定か。

答 防災ラジオについては、今年度500台を市で一括購入する。これについては募集チラシを全戸配布する他、市民だよりやホームページで広報し、市民販売を行う。販売時期については、防災ラジオは刈谷市オリジナル仕様であるため、9月末ごろになる予定である。



耐震対策に最大で120万円補助

星野 雅春 議員（一括質問一括答弁方式）

ご当地ナンバー導入の考えは
 —よい機会と捉え、調査研究を実施—

問 原動機付自転車のナンバープレートに、ご当地ナンバーを導入するメリット、デメリットは何か。

答 メリットとしては、話題性があり、郷土への愛着が深まることや市内外に向けてPRを行うことができる点である。その一方で、原動機付自転車の移動範囲を考えた場合、PR効果は、やや限定的なものであると思われる。また、標識の製作コストが高くなることや刈谷市を象徴し、かつ市民に親しまれる図柄の検討などが課題である。

問 かつたらご当地ナンバーに製してはどうか。

答 原動機付自転車は幅広い年齢層の方が使用するものである。また、さまざまなデザインやモチーフなどを総合的に勘案しながら、導入について研究していきたい。



他市の原付のご当地ナンバープレート

加藤 峯昭 議員（一問一答方式）

衣浦定住自立圏形成協定による成果は
 —地域医療ネットワーク事業により地域医療を充実—

問 平成23年に定住自立圏の協定が締結されてから、1年が経過したが、どのような成果が見られたか。

答 東浦町との図書館相互利用、高浜市との美術館入館促進事業と様々な連携事業をしてきた。その中でも特に地域医療連携ネットワーク事業が大きな成果といえる。刈谷豊田総合病院と圏内の診療所などを、インターネットを利用してオンライン化するにより、紹介時の

山本 シモ子 議員（一括質問一括答弁方式）

車いす生活者などは、市営住宅で救済を
 —応募者の入居条件等の十分な聞き取りによる確認を実施—

問 市営住宅への市民の入居要望は、依然として高い状況である。5月1日の入居者募集では、1戸の募集に対して66人で抽選したが、このような状況についてどのように考えているか。

答 経済情勢の変化に伴う厳しい雇用状況、障害者や高齢者などの民間アパートへの入居が難しいことなどにより、住宅困難者が生じていると考えている。

黒川 智明 議員（一問一答方式）

高齢化などの諸課題を踏まえた交通環境の整備を
 —市民からの要望を参考に交通体系の見直しを検討していく—

問 刈谷市都市交通戦略が目指す姿とはどのようなものか。

答 鉄道やバスによる公共交通の充実や自転車ネットワークの形成等により他の交通手段への転換を促し、自動車交通量を10%削減するとともに、幹線道路の整備や渋滞、交差点の解消等により主要区間の平均所要時間10%短縮を目標としている。

問 高齢化により買い物難民が刈谷でも増大していくと考えているが、バス路線の課題と今後の進め方はどのようなものか。

答 アンケートではバスの利便性の向上に対する要望が高く、運行本数の増加、南北を縦断する幹線路線の設置等の要望がある。今後は市域を縦断する名鉄バス刈谷愛教大線を含めたバス交通のあり方や、路線の見直しを検討したいと考えている。



市民の交通手段として活用されている刈谷市公共施設連絡バス

野村 武文 議員（一問一答方式）

記念事業を一過性のまちおこしにしないための今後の考えは
 —歴史的にまちおこしにしないための今後の考えは—

問 史実という問題は峻別する必要が。刈谷城の築城は「水野忠政」と「水野氏」という2つの研究があり、市として史実の取扱いに違いがある。なぜ水野忠政を使わず水野勝成なのか。

答 水野忠政が刈谷城を築城したことは寛政重修諸家譜に記載されている。しかし、現在の本市の発展は江戸時代に刈谷藩が設けられ、その城下町として発展を遂げてきた基礎がある。

問 刈谷城築城から480年の歴史の中で発展の基礎を築いた初代刈谷藩藩主水野勝成の功績は、戦国から続く本市の歴史ロマンの象徴として受け入れられやすく親しみやすい武将であることから、水野勝成を取り上げている。今後は、記念事業全体の評価を行った上で、郷土の歴史、文化の啓発発信と継続的に進めていくための事業展開を検討していく。



刈谷城表門のCGイメージ図

中嶋 健治 議員（一問一答方式）

祝日保育に対する今後の考え方、進め方は
 —利用状況を踏まえ、課題やニーズを把握し、検討していく—

問 あおば保育園とおがきえ保育園で休日保育を実施しているが、そのうち、祝日保育の利用人数はどうか。また、他園からの利用人数はどれくらいか。

答 昨年度の利用は、あおば保育園が78人、うち他園からは30人、おがきえ保育園が42人、うち他園からは10人である。

問 保育園の行事で平日に開く必要があるのか。

答 各保育園では行事の開催日を保護者会の役員と協議の上、決定している。保護者の勤務態勢や休暇制度もさまざまであるため、今後も保護者の理解を得ながら決めていきたい。

新田 周二 議員（一問一答方式）

災害発生時の市民の避難先を確保する対策を
 —避難所の充実や企業との連携強化などに努める—

問 災害発生時の市民の避難先を確保するため、非常食等の備蓄品の拡充を今後どのように進めていくか。

答 高齢者、障害者、妊産婦や乳幼児などを受け入れる福祉避難所のうち、公共施設の4箇所については新たに防災備蓄倉庫を設置し、車椅子、リクライニングベッド、おかげ、離乳食、おむつなどを備蓄したほか、民間福祉施設の4箇所についても今年度、倉庫を整備し、備蓄を行っていく。

問 現在、市民会館跡地に整備されている大手公園は、防災拠点としてどのような位置付けを行いますか。

答 記念事業は郷土の歴史文化を再認識し、未来の刈谷づくりに向け市民と行政が一体となったまちづくりを進めるスタートの年と位置づけている。今後は、記念事業全体の評価を行った上で、郷土の歴史、文化の啓発発信と継続的に進めていくための事業展開を検討していく。

山本 シモ子 議員（一括質問一括答弁方式）

公職選挙法で市議会議員は寄附や暑中見舞いを
 出すことが禁止されています。
 禁止されている寄附の主なものは左記のとおりです。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

市議会議員一同

鈴木 浩二 議員（一問一答方式）

各保育園では行事の開催日を保護者会の役員と協議の上、決定している。保護者の勤務態勢や休暇制度もさまざまであるため、今後も保護者の理解を得ながら決めていきたい。

問 祝日保育の拡充が必要かと検討しているか。

答 考慮しているが、実施圏を増やすための課題は何か。

答 勤務のローテーションができる職員の確保が一つの課題と考えている。利用状況を踏まえ、様々な課題やニーズを把握し、検討していく。

山本 シモ子 議員（一括質問一括答弁方式）

各保育園では行事の開催日を保護者会の役員と協議の上、決定している。保護者の勤務態勢や休暇制度もさまざまであるため、今後も保護者の理解を得ながら決めていきたい。

問 祝日保育の拡充が必要かと検討しているか。

答 考慮しているが、実施圏を増やすための課題は何か。

答 勤務のローテーションができる職員の確保が一つの課題と考えている。利用状況を踏まえ、様々な課題やニーズを把握し、検討していく。